

～第8回 部会ごとの検討 の巻～

日 時：2009年8月20日（木） 18：30～20：30

場 所：北上市生涯学習センター 第2学習室

今回からは、計画策定部会と生ごみリサイクル部会に分かれての検討となりました。本結果をもとに、今回は、計画策定部会が、ワークショップの内容から作成した提言案の点検と意見交換、生ごみリサイクル部会が、現場点検を行います。

<計画策定部会 ビジョン設定シート>

将来の子どもたち、北上の未来の理想の状態を考えてみましょう。

① 30年後の理想の、ごみ環境・あるべき理想像

- ・北上は岩手県が一番キレイな町になる。人々に好かれて、人口増える、ごみ焼却した灰を建築材料に利用して、温水浴、温水プール、無料で使えること。
- ・総てのごみが資源（エネルギー）となるまち

② 30年後のための10年後の理想のごみ環境・あるべき状態

- ・ごみを燃料にしたい。ごみを生かしたい。
- ・自己責任での（家庭）ごみ処理（昔のノウハウ）→利益を生む仕組みづくり「減税」
- ・ごみの分別や処理の手法や場所を見直して楽になるように。
- ・もえないごみの完全リサイクル
- ・節約する意識を高め、物を大切に

③ 10年後のあるべき状態のための、5年後の状況

- ・家庭でエネルギーとして生かす
- ・子供たちと一緒にごみに関して作業する
- ・徹底した分別、利用できる施設（工場）
- ・資源化企業の成長
- ・ごみの規格の簡素化
- ・どの商店へでもごみが出せる体制
- ・紙やもえるものをエネルギー化
- ・将来のごみは全部もえる物にする

④ そのために行うこと

- ・家庭の選別を徹底する
- ・農場の経営集団、生ごみ農業（あぶら工場）
- ・現時点でのリサイクルを要するものは売らない買わない
- ・不特定ごみは自ら焼却する仕組
- ・リーダーの研修と勉強会
- ・個別収集、自己責任、教育の徹底
- ・お互いにごみのことに声をかけかって話題にしよう
- ・罰則の強化
- ・小・中学校で教育に取り入れる

<生ごみリサイクル部会 事業提案シート>

事業名	花の街北上	アンケート調査
いつから いつまで	9月～12月（44か月）	
どこで	市役所前に 公共施設→駅前	
誰が	ごみ減量化組織	市役所が
誰を対象に	市民を対象	農家を対象に
何を	生ごみを	市民の考えを 自分たちで10名に聞く 生ごみの需要があるか
どうする	肥料にする	聞く
必要なもの	生ごみ 生ごみ電動処理機 コンポスト・堆肥用バケツ	

<ふりかえりから>

- ・少しは具体的になってきたかな。意識の徹底を考えてみよう。
- ・前回の会議の報告の中に、ごみ処理基本計画と、それが10年単位に策定され5年毎に見直しされると書いてありました。今回のこの部会の目的として、その見直し案への提言になるように、まとめたいということだと思いますが、最初にその事をもう少し分かりやすく説明した方が良かったと思います。
- ・言葉は違えど、思い描く未来のあり方は皆同じであるように思いました。具体的にどんな行程が立てられるか考えて勉強してみたいと思います。良い機会になりました。
- ・ごみの悪玉という先入観を払拭して、すべて資源にすべきとの意見に感動した。
- ・参考になるご意見であり有意義でした。
- ・分別して実行していきたいと思います。
- ・熱利用、経済的手法の活用について、関心が深かった。